

第 23 回 さいたま赤十字病院の近隣調剤薬局との連携会 議事録

日時：2023 年 10 月 13 日（金）17：30-19：00

場所：当院 7F 第 3 会議室

参加者：（敬称略・順不同）

アイン薬局 2 名

ウエルシア薬局さいたま新都心けやきひろば店：1 名

コスモ薬局上落合・さいたま市薬剤師会：1 名

サエラ薬局北与野店：欠席

セイムスさいたま新都心薬局：1 名

南山堂薬局さいたま新都心店：欠席

みどりの薬局：1 名

医事課（外来係）：1 名

相談支援：1 名

薬剤部：8 名

アルフレッサ：3 名

<議事>

1. 前回までの議事録の確認

＊術前休薬指示対応について 進捗状況報告（竹内）

・術前休薬指示書が完成したため、運用開始方針

開始時は、さいたま市薬剤師会に周知を依頼する。

＊供給について

・カルボシステイン：「トーワ」は回復傾向も、他メーカーはまだ供給が不安定な状況。

→当院採用薬品内で代替薬提案し、対応する。

・オーグメンチン配合錠：整形外科、呼吸器内科等、多科に渡り処方が出ていること、

原因菌を確認しないと候補が絞れない等、一律に変更を提案しづらい。

→院内通知は出したが、今後も改善しない場合は日数制限を検討方針。

・GLP-1 関連：トリルシティ、オゼンピック、マンジャロ 供給不足の状態。

トリルシティ：近隣にもないため、処方変更で対応している。

オゼンピック・マンジャロ：糖尿病内科に新規処方の制限を依頼している。

・麦門冬湯：（当院対応）現在は処方を止めている。限定出荷されているが、再開できるか

→まだ流通量は非常に低く不安定にて、院外対応は難しい。折を見て再開方針とする。

＊シリンジ製剤の注射針について

・ヘパリン Ca シリンジ

→注射針は器材処方として当院で受け取り、ヘパリン Ca は院外処方に統一されることとなった。

＊電子お薬手帳の運用について

- ・入院案内パンフレットに、「電子お薬手帳をお使いの方は、あらかじめ印刷してお持ちください」の文言を追記した。サポート薬局にも患者から相談が来るかもしれないので、対応を依頼。

2. 各店舗から連絡・提案事項等

＊供給関連事項について（新井：別紙参照）

→前項参照

＊当院見学報告（化学療法関連）：南山堂（吉原）

→欠席にて文書で別途報告予定

＊耳鼻科休日診療報告：アイン薬局（宮城）

→件数：26 件。散剤が多い場合は多少時間がかかるが、基本的には問題なく対応できた。

3. さいたま赤十字病院から

薬剤部

＊Dr.JOY を用いたトレーシングレポートの運用に関して（川田：別紙参照）

現在は FAX で運用しているが、送付先間違いなどのリスクを減らす/データ管理のため、化学療法に関するトレーシングレポートについては、上記の運用開始を提案。

（緊急の場合や疑義照会は従来の通り、電話対応。結果の提供は廃止）

→サポート薬局側の対応準備ができ次第、開始。（遅くとも 11 月には導入を目指す）

他薬局に関しては従来通り FAX だが、件数が多い場合は個別に連絡し、上記システムへ切り替えを検討する。

＊経口抗がん薬（タフィナー・メキニストなど）の調剤薬局における初回外来導入への対応状況について（後藤）

IC 時点で医師から患者へ、どの薬局を利用予定か確認し、先に情報を薬局に伝達・事前準備をしてもらうといった対応が最も確実か。上記案を呼吸器医師へ相談方針。

＊レジメン研修会について（亀井）

11/17（金）18 時～開催予定。{産婦人科関連のレジメンについて（須貝）/特定算定指導加算 2 について（南山堂吉原）を予定}

＊入院前服薬情報提供書の運用変更について（小村：別紙参照）

- ・事前に得られた情報が古い場合は、病院から直接、薬局に協力依頼をする方針へ転換へ。
- また、緊急入院となったが処方内容が不明の患者に関して、かかりつけ薬局が判明した場合、同様に情報提供の依頼を行う可能性があるため、協力依頼を行った

＊退院時サマリー作成後の薬局への情報提供方法について（小村）

- ・病院からかかりつけ薬局に FAX を直接送付する案を検討中。
- 運用開始時には、さいたま市薬剤師会に周知を依頼する。

入退院支援センター

入院前休薬指示に関連した情報共有事項

- ・入院前にお薬手帳などの情報を確認し、術前中止薬の抜けがないかを確認している。
疑義があった場合、院外薬局で問い合わせ済みなのかなど履歴を知る方法はあるか
→お薬手帳の要項に入っておらず、現状は当該薬局への問い合わせしかない。
今後の課題として検討。

医事課

- ・特記事項なし

4. さいたま市薬剤師会から

- ・アピアランスケアのウィッグ：病院、薬局にチラシを配布している。是非活用を。
- ・入院前服薬情報提供書に関する委員会を立ち上げ方針。また詳細決定次第報告方針。

5. アルフレッサから

- ・供給変更に対しては随時対応を行っている。増産があったとして、患者数が増えていることもありしばらくは不足が続くことが予想される。
- ・厚労省で「供給相談窓口」への問い合わせが増えている。

6. その他

- ・次の開催日 予定：2024年1月12日（金）17時半～ 対面予定